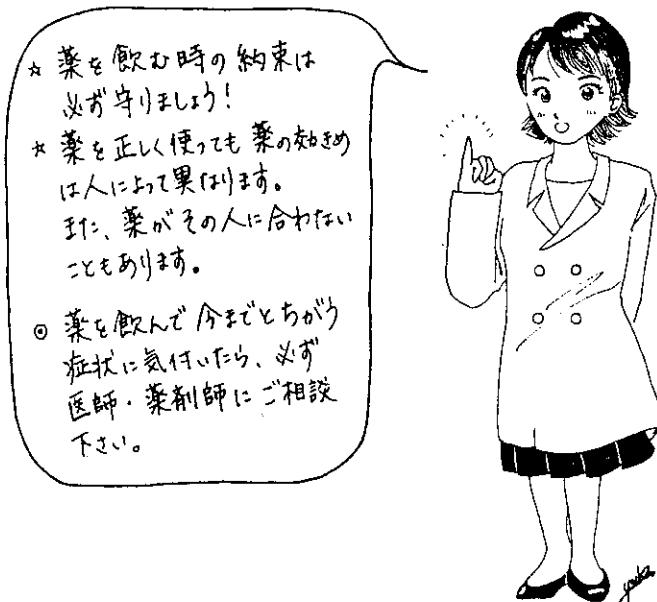
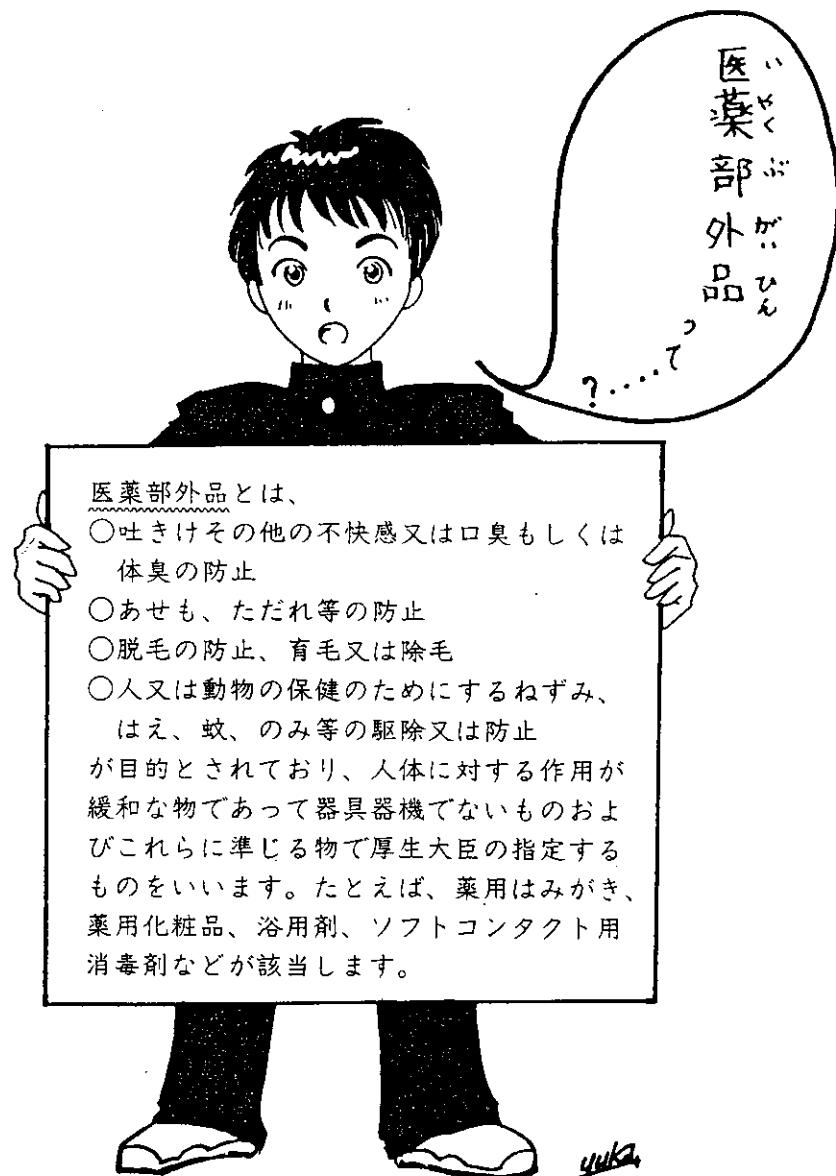


## 「薬を飲むときの約束」

1. 毎日決まった時間に薬を飲みます。
2. 薬を飲む量を守ります。
3. 病気がなおったと思っても決められた日まで薬を飲みつづけます。
4. ほかの人から薬をもらって飲んだりしません。
5. ほかの人に自分の薬をあげたりしません。
6. 前の病気のときにもらった薬は使いません。
7. 薬はいつもきちんと整理しておきます。



\* 薬を飲む時の約束は  
必ず守りましょう！  
\* 薬を正しく使っても薬の効きめ  
は人によって異なります。  
また、薬がその人に合わない  
こともあります。  
◎ 薬を飲んで今までとちがう  
症状に気付いたら、必ず  
医師・薬剤師にご相談  
下さい。



やくぶつらんようぼうし  
**薬物乱用防止テキスト**



質問1. 「薬物乱用」とはどういうことですか？ また、乱用される薬物を教えてください。

答：

薬物乱用とは、遊びや快感を求めるといった本来の目的とは違った不正な目的や方法で覚せい剤やシンナーなどの薬物を使うことをいいます。これらの薬物を一度でも不正に使うと薬物乱用になり、犯罪になります。薬物の依存性は非常に強く、一度薬物の依存症になると、一生薬物の誘惑とたたかい続けなければなりません。

薬物乱用は法律によって世界中できびしく禁止されていて、重い刑罰をうけます。乱用薬物は持っているだけでも犯罪です。

#### ★専門用語の説明

依存性：何度もくりかえし薬物を使いたくなり、自分の意志では薬物使用のコントロールができなくなること

表1. 薬物乱用による世界各国の最高刑

国名	最高刑
アメリカ	無期懲役
イギリス	無期懲役
オランダ	禁固12年
韓国	死刑
シンガポール	死刑
タイ	死刑
日本	無期懲役
フィリピン	死刑
フランス	無期懲役
マレーシア	死刑



乱用される薬物は、脳への影響によってわけられます。

★1. 脳を刺激して興奮させる→覚せい剤(アンフェタミン、メタンフェタミン)・コカイン

★2. 実際にはないものが見えたたり、聞こえたりする→LSD・大麻(マリファナ)

★3. 脳を麻痺させて気分をしづめたり、ねむらせたりする→あへん系麻薬(ヘロインなど)・向精神薬(睡眠薬、精神安定剤など)・有機溶剤(シンナー、トルエン、接着剤など)

これらの薬物はいずれもたいせつな脳の働きをこわしてしまい、心にも身体にも障害をあたえます。一度こわれた脳は、けつしてもとには戻りません。また、これらの薬物は「エス、スピード」などの俗称で使われるため、危険な乱用薬物と気がつかないで使用してしまうことがあります。

カッコイイ俗称は危険な薬物のかくれみのです。十分気をつけましょう。

表2. 亂用薬物のいろいろな俗称と規制する法律

薬物名	俗 称	規制する法律
シンナー	アンパン、ニギリ	毒物及び劇物取締法
覚せい剤	エス、スピード、アイス、シャブ	覚せい剤取締法
ヘロイン	ペー、チャイナホワイト、ジャンクホース、H	
コカイン	コーク、スノウ、クラック、ロック	麻薬及び向精神薬取締法
LSD	アシッド、フェニックス、ドラゴンシュガー	
向精神薬	ブルーバーズ、ブルース	
大麻	ハッパ、マリファナ、グラス、チョコ、ハシッシュ	大麻取締法
あへん		あへん法

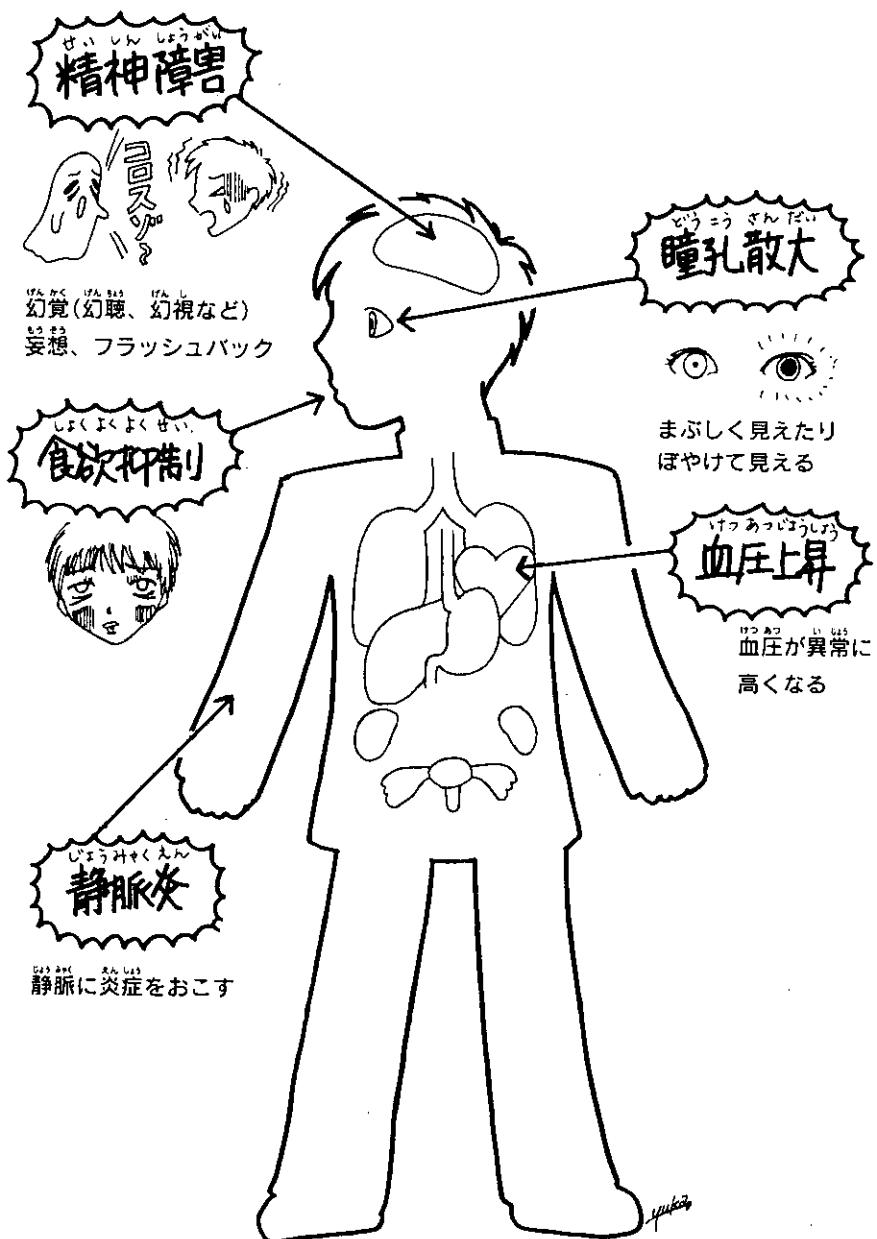
## 質問2. 薬物を乱用すると、どうなるの？

答：

覚せい剤が身体におよぼす影響を図1に示しました。このように、薬物の乱用により脳や身体のさまざまな部位に障害があらわれます。

また、大麻では精子の異常が、シンナー・コカインでは先天異常などの報告があり、生まれてくる子供にも大きく影響します。

図1. 覚せい剤が身体におよぼす影響



質問3. 一度だけならだいじょうぶではないですか？

答：

薬物乱用は「一度だけでもダメ。ゼッタイ。」です。なぜなら、一度でも乱用すると強い依存性がうまれ、薬物づけの毎日がはじまってしまいます。

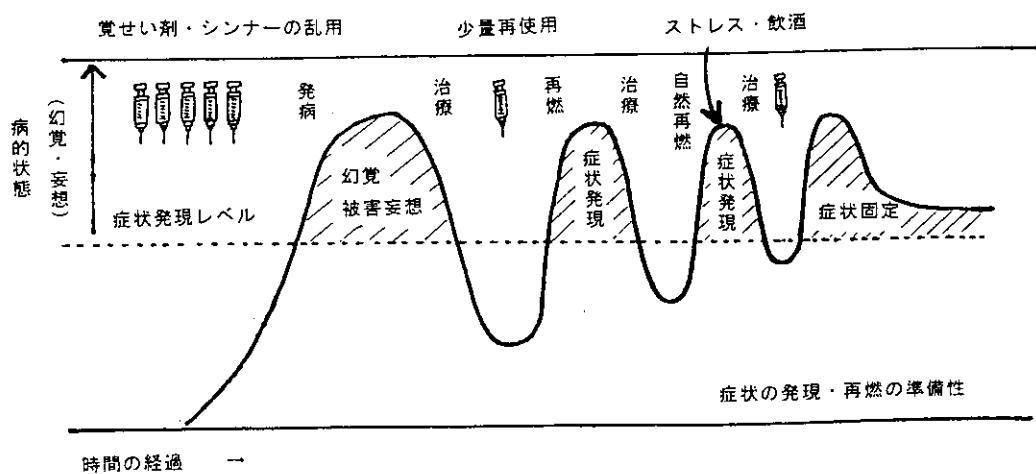
### ★おそろしいフラッシュバック（薬物乱用の後遺症）

薬物乱用の害は一生涯続きます。薬物乱用で幻覚<sup>1)</sup>、妄想<sup>2)</sup>などの精神病の症状が生じると、これらの症状が再び起こりやすい下地ができてしまします。このため、乱用をやめて普通の生活にもどっても、ストレスや飲酒などの小さなきっかけで精神病の症状がふたたび起こることがあり、これをフラッシュバックといいます。

### ★専門用語の説明

- 1) 幻覚：実際にはないものが見えること。
- 2) 妄想：他人などから被害をうけていると思ったり、家の前を走る自動車のクラクションを聞いて、「あれは自分を殺せという合図だ」などといったりすること。

図2. 薬物精神病の発現・フラッシュバックのイメージ  
(『絶対しません薬物乱用』、財団法人日本学校保健会より引用)



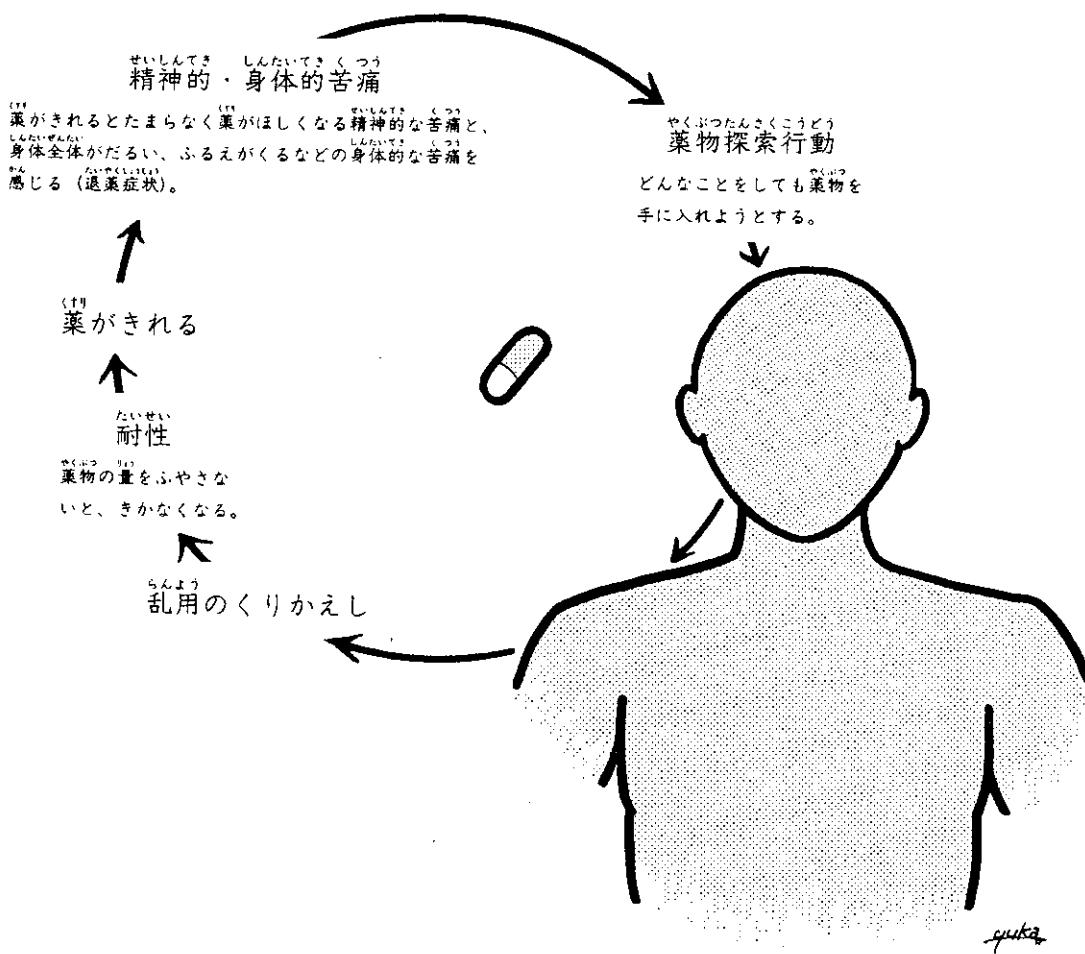
質問4. 薬物乱用は個人の自由ではないですか？

答：

薬物乱用は乱用者が脳をおかされた結果、心も身体もメチャクチャになるばかりでなく、人に危害をくわえる、薬物ほしさに犯罪をおかすなど社会的影響も大きいのです。

図3. 薬物依存の悪循環

(『NO！といえる勇気を持とう』、財団法人日本学校保健会より改変して引用)

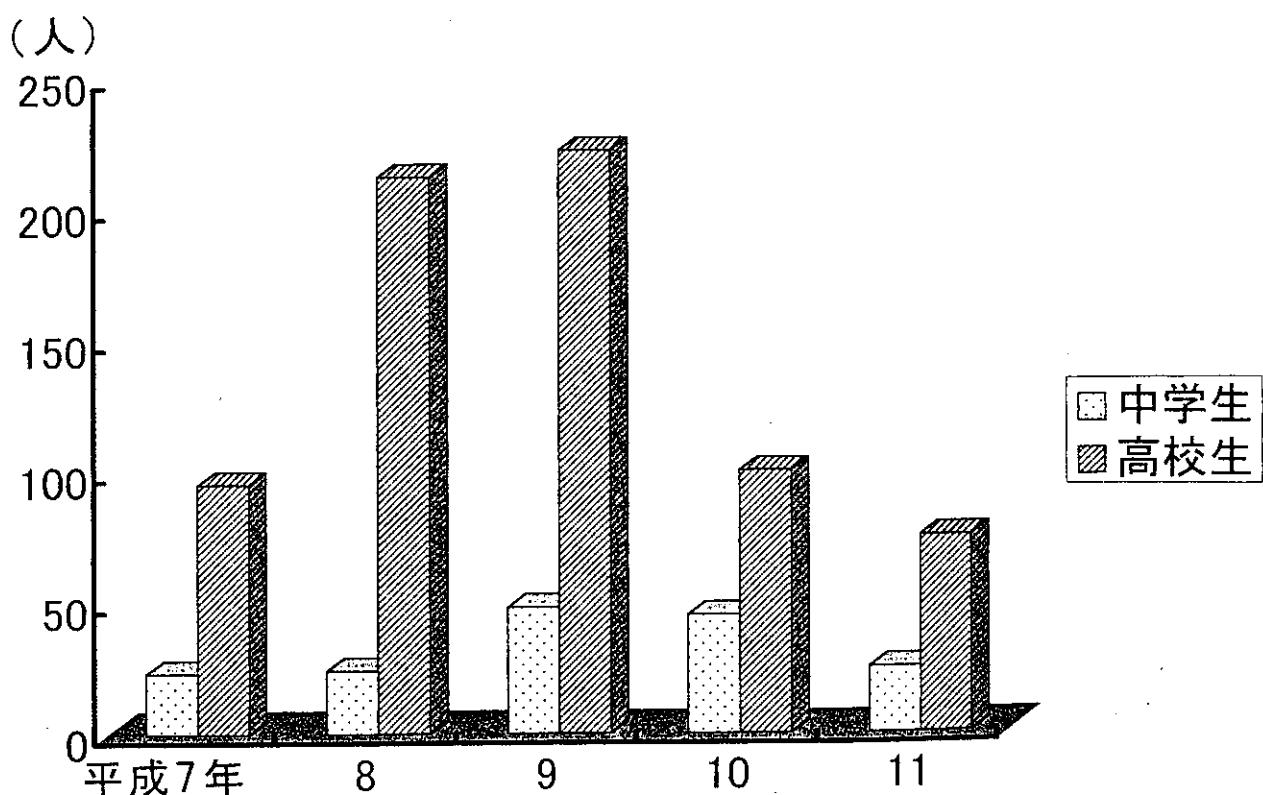


質問5. 日本では薬物乱用はどうなっているのですか?

答:

日本では薬物乱用者は10代、20代の青年層が増加しています。さらに、乱用する薬物の種類が増え、不良外国人などによる薬物に関連した事件も増加しています。みなさんの知らない間に、薬物乱用の魔の手が身近にせまっているのです。図4に覚せい剤の乱用による中・高校生補導状況を示します。

図4. 覚せい剤の乱用による中・高校生補導状況(絶対しません薬物乱用、財団法人 日本学校保健会より改変して引用)



覚せい剤乱用で補導された中・高校生は、平成9年には過去最高となり、平成10年以降も対前年より減少しているものの、引き続き高い数値が続いている、危機的な状況にあります。

## 質問6. 薬物乱用しないためにはどうすればいいですか？

答：

薬物乱用は、友達や先輩からさそわれて、おもしろそうだという好奇心や仲間はずれになりたくないなどのきっかけから始まります。自分には関係ないと思わないで、誰でもまわりからさそわれるおそれがあるのです。さそわれても「ダメ。ゼッタイ。」「NO！」とことわる勇気を持ってください。薬物乱用がもたらすおそろしい結果について正しい知識を持ち、ゼッタイに薬物乱用はしないという自覚が大切です。誤った情報・うわさにまどわされないでください。また、「一度だけならだいじょうぶだ」「私だけはだいじょうぶだ」という安易な気持ちは持たないでください。薬物乱用はあなたの健康・成長・自由・未来をうばうばかりでなく、家庭や社会に大きな迷惑をかけ、けっして個人の自由ではないのです。

薬物乱用については、ひとりで悩まないで、家族、先生、警察や保健所の相談窓口に相談し、助けをもとめましょう。

★こんなセリフでさそわれます。

「やせてきれいになるよ」

「ちょっとだけ、ためしてみない」

「みんなやっているよ」

「おもしろいことがあるんだけど」

「ただの栄養剤だよ」

「1回だけなら平気さ、いつでもやめられるよ」

「お金はこの次でいいよ」

「とりあえず、あずかってよ」

「気分がすっきりするよ」

「いやなことも忘れられるよ」

